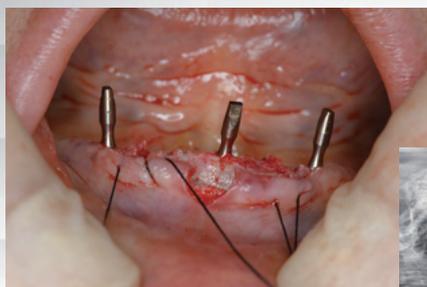


TM IMPLANT

TM IMPLANTは2次手術までの安静植立期間における荷重負担、創傷部の保護、およびテンポラリーレストレーションを目的としたφ2.0の暫間インプラントです。

口腔内でネック部からベンディングを行うことによりフレキシブルな暫間補綴設計を可能にします。

材質にはJIS2種 純チタンを使用し、高い生体親和性と強度の両方を兼ね備えています。



販売名：プラトンTMインプラント
 一般名称：歯科用インプラントシステム
 クラス分類：高度管理医療機器
 製造販売業者：(株)プラトンジャパン
 医療機器製造販売承認番号：2230082X00013000

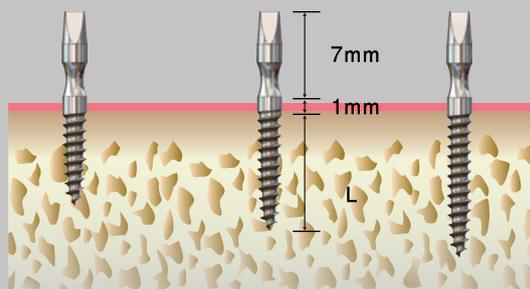
TM インプラント

TM プラスチック
コーピング

TM ハンドピース
ドライバー

TM ラチェット
ドライバー

TM ベンディング
ツール

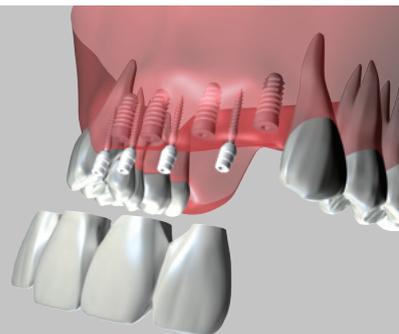


L:8mm

L:10mm

L:12mm

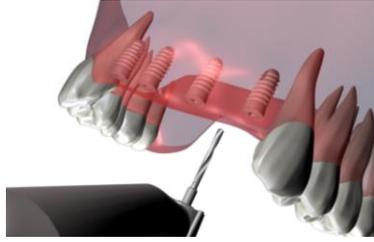
2本入り (TMプラスチックコーピング2個付)



販売名：プラトンインプラントツール 一般名称：電動式歯科用インプラント手術器具 クラス分類：管理医療機器 製造販売業者：(株)プラトンジャパン 医療機器製造販売承認番号：223AG8Z00166000
 販売名：TMラチェットドライバー 一般名称：歯科用インプラント手術器具 クラス分類：一般医療機器 製造販売業者：(株)プラトンジャパン 医療機器製造販売承認番号：1381X10081000018
 販売名：TMベンディングツール 一般名称：歯科用インプラント手術器具 クラス分類：一般医療機器 製造販売業者：(株)プラトンジャパン 医療機器製造販売承認番号：1381X10081000021

TMインプラント術式

① ドリリング



埋入されたフィクスチャー間の近遠心の中に植立するポイントを決定し、 $\phi 1.3\text{mm}$ のスターティングドリルで方向と深さを決定します。(もしくはガイドドリル $\phi 1.8\text{mm}$ で皮質骨部を穿孔し、TMインプラントの植立方向を決定します。)

近遠心の距離が不足する場合は舌側、口蓋側寄りに植立し、インプラントや隣在歯との間に十分な距離(1mm以上)を確保します。

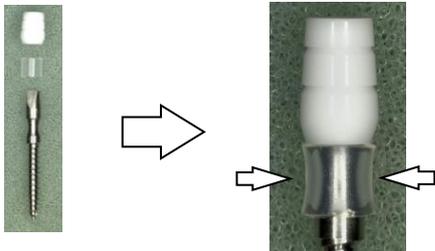
③ 植立深度コントロール



TMラチェットドライバーとラウンドドライバーを使用して、植立深度のコントロールを行います。

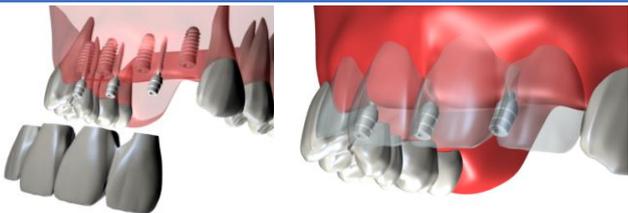
適正な位置を確認し、粘膜縫合を行います。

⑤ ブロックアウト用レジングードチューブ装着



TEK(暫間補綴物)とTMプラスチックコーピングを固定する際、ヘッドのアンダーカットに余剰レジンが入り込まないように、シリコン製のレジングードチューブを、あらかじめ装着しておきます。

⑦ TEK(暫間補綴物) 接着



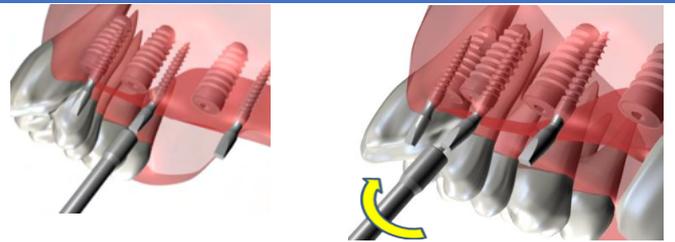
TMプラスチックコーピングが干渉しないように、暫間補綴物に空隙を設け、隙間に即時重合レジンを流し込み、コーピングを取り込みます。コーピングはメタクリル樹脂製のため、即時重合レジンと接着します。暫間補綴物に取り込まれたTMプラスチックコーピングを、TMインプラントに仮着セメントで固定します。

② TMインプラント植立



TMハンドピースドライバーをコントラに装着し、TMインプラントをマシンコントロールでトルクは15Ncm(MAX30Ncm)、回転数は20~25rpmで植立します。推奨値15Ncm(MAX30Ncm)を超える場合は破断の恐れがあるため、再ドリリングします。手指の場合は、TMラチェットドライバーとトルクラチェットを使用します。トルクはコントラ埋入と同様です。

④ ベンディング



口腔内に植立されたTMインプラントの平行性が悪く、角度調整が必要な場合は、TMベンディングツールを装着し、ネック部で注意深く曲げます。

TMインプラントを繰り返し曲げたり、過度にひねると強度の低下に繋がり、破折することがありますのでご注意ください。

⑥ TMプラスチックコーピング装着



TMインプラントのネック部のアンダーカットをレジングードチューブでブロックアウトし、TMプラスチックコーピングをヘッド部に仮固定します。

※コーピングは未滅菌品ですが熱変形するため、オートクレープでの滅菌は避けて下さい。常温環境でのガス滅菌・もしくは消毒の範囲でご使用ください。

⑧ TMインプラント撤去



併用したインプラントの骨結合が達成し、ヒーリングアバットメントに移行する時点で、TMインプラントのヘッド部にTMラチェットドライバーを装着し、ラウンドドライバーでトルクをかけ撤去します。※ベンディングされたヘッド部は、元に戻すと破断する恐れがありますので、ベンディングされたまま慎重に逆回転して撤去してください。